

紀念會祝歌數首 : 文苑

著者	吉田, 豊, 下村, 成典, 川口, 虎雄, 下山, 陸治
雑誌名	龍南會雜誌
巻	20
ページ	44-45
発行年	1893-11-09
その他の言語のタイトル	紀念會祝歌數首 : 文苑
URL	http://hdl.handle.net/2298/4139

祝詞

龍南ニ伏氣アリ異光明滅而シテ其瑞カ妖カヲ知ラズ世人領テ引テ凝視シ入シク其發ヲ待ツ去年火光
 一閃氣ノ秀ナルモノ一團飛デ東洛ノ奥ニ入り今年再閃復タ其地ニ移ル火光尙未ダ幽ナリト雖モ獨リ
 凜乎トシテ其レ銳ニ純乎トシテ其レ精ナリ是ニ於テカ人稍其氣ノ何タルヲ識ル而シテ伏氣日ニ益多
 キヲ加ヘ異光日ニ愈昭昭龍山高カラザルモ之ニヨリテ以テ其翠ヲ増シ白川深カラザルモ之ニヨリテ
 以テ其勢雄ナリ然リト雖モ氣ノ妖瑞ニ至テハ未ダ遽ニ知ル可カラズ若シ夫レ一旦此氣開裂怒遯スル
 ノ曉ニ至ラバ將ニ妖雲暗澹毒霧四塞高千穂ノ峯壽安鎮國ノ山空ク瘴癘氣中ニ溷沒セラレメントスルカ
 將タ又玖摩ノ流筑紫次郎ノ水愈長ク愈明ニ正氣萬丈瑞光輝々九國千里ノ野ニ布滿シ滅沒セル倒影復
 タ望ム可カラザルニ至ラントスルカ氣只獨リ自ラ識ルアランノミ第三回開校紀念會ニ當リ聊カトシ
 テ以テ祝詞ニ代ニ

明治廿六年十月十日

第五高等中學校豫科生徒總代

江口俊博 敬具

第五高等中學校第三回紀念會

を祝ひて

吉田 豊

たさびく極み 青雲のひかふす限り
 行鳥の群がる友を 玉矛の

不知火の 筑紫の國に ろびえたつ 道ゆく人に とりたてゝ いやさかゆらん
 學の園の 開けしゆ 三年としるす 千代の後まで

今日の日を 祝へばはむ 白雲の 返歌

年のはに祝ふいはひに龍田ある

友の色ます今日のうれし

第五高等中學校第三回紀念會を

祝ひて 下村 成典

諸どもに祝ひとあへんつくまのに

學ひの園のたちし其日を

あろ山の畑は千世にたつたある

學ひの庭はさかえ見せつゝ

同 題 川口 虎雄

とも垣のむすひのいとゝふたければ

學のろのも榮え行くあり

幾千代にさかえ行くかは不知火の

つくまの空にはふ文園

第二回開校式紀念會を祝して

下山 陸治

みとせへしけふも千とせの末とても

學の道る世のかゝみある

祝第三回紀念會 笠間 益三

健鶻擊空秋氣橫壯士悲愴劍有聲此日我

校紀念會方開思舊謀新轉爲情生徒來集

肥豐筑學域廣及和漢英交道悽涼須擇友

文壇索落豈爭名赤心報國且領取霜林紅

葉照眼明

祝第三回紀念會

在帝國大學 原 勇 六

江城忽遇菊花開想見龍南佳氣催蘇嶽晴

光搖草樹白川流調振樓臺含風曉鼓天間

起帶露旭旗雲外廻兩地遙々三百里恨無

共醉祝筵杯

同 全 武藤 虎太

西、海、氣、風、冠、日、東、千、山、萬、水、自、豪、雄、龍、蛇、大

澤、起、雷、雨、虎、豹、天、門、吹、疾、風、鳳、翼、須、飛、寰、宇

表、驥、蹄、要、躍、曠、途、中、滿、場、五、百、青、衿、士、勿、徇

細、功、誤、鉅、功

文苑

四十五